

予報期間 10月14日から10月20日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 台風第23号については最新の台風予報を参照。
- 16日から17日にかけて、低気圧が日本の東から日本のはるか東に進み、高気圧が沿海州付近から東日本付近に移動する。
- 18日から19日にかけて、低気圧がオホーツク海からカムチャツカ付近に進む。
- 19日から20日にかけて、大陸の高気圧が日本海に張り出す。

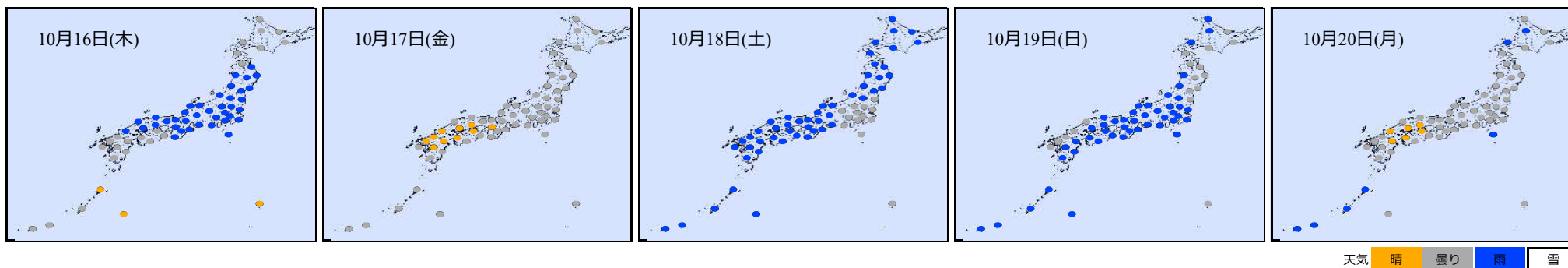
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 16日は、北日本を中心に発達する低気圧により大雨となり、低気圧の発達の程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

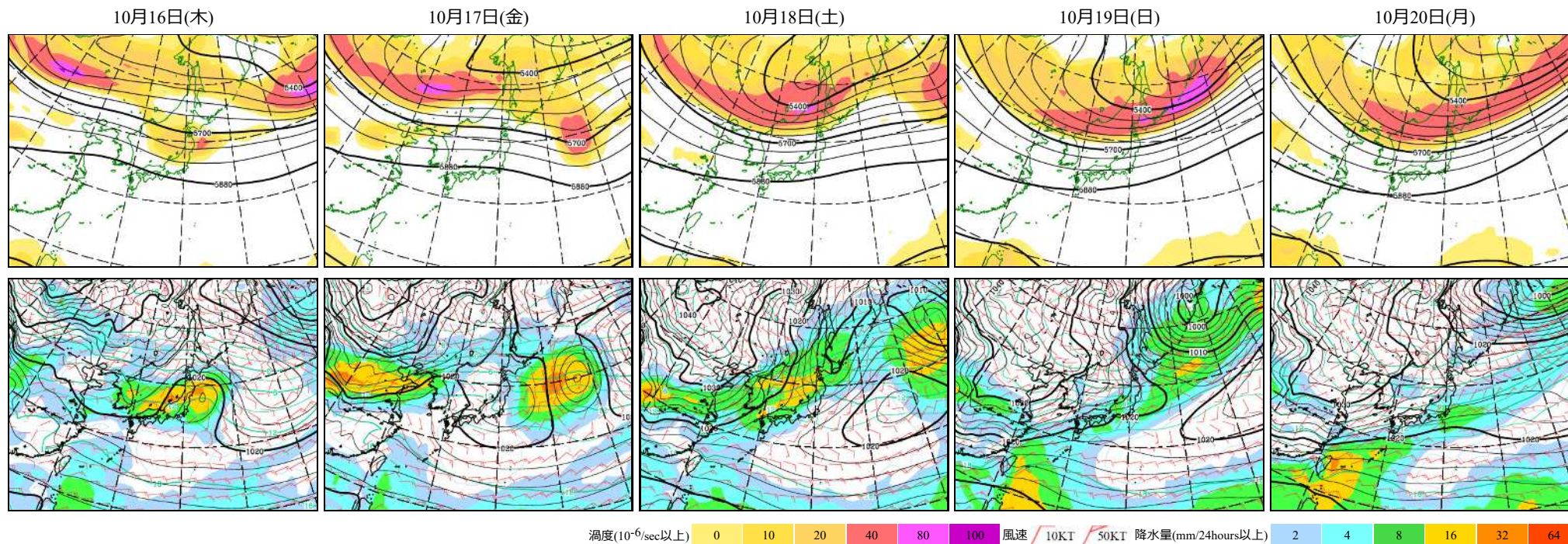
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

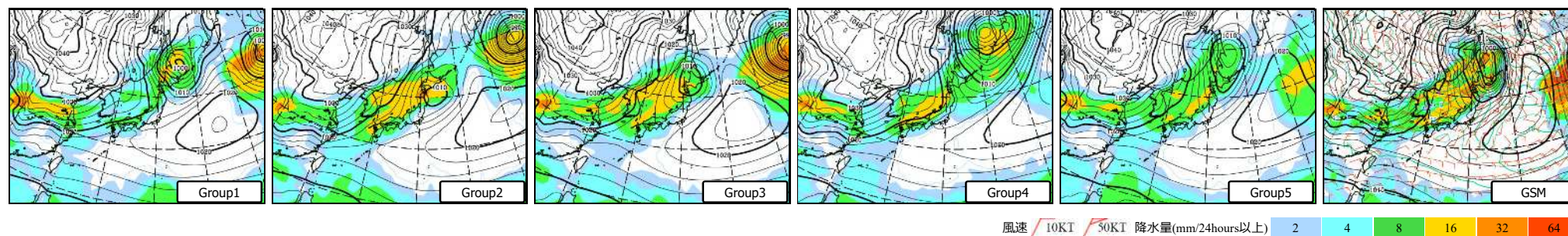


- 北日本は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、17日と20日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多いが、16日は晴れる所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆10月18日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、16日は日本の東の低気圧が強くなり、17日は東日本付近の高気圧が強くなった。
- スプレッドは期間を通して小さい。
- 16日から17日にかけて低気圧が日本の東から日本のはるか東に進むことや、18日から19日にかけて低気圧がオホーツク海からカムチャツカ半島に進むことはモデル間で揃っている。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。